

IPS - 5005

(14)

(46)

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

REQUEST FORM

1946

INCIDENT - ACCUSED

JUDGE ALBERT WILLIAMS

The undersigned requests the consideration of Document # 5005
(describe): *affidavit*

MAHOMED - Kuching & KUALA BALAT.

for introduction in evidence (specify purpose)

(Processing only, translation completed)

*Superseded by
req. of Aug. 12.*

Thomas L. et.

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION
AUSTRALIAN DIVISION

Staff Attorney

12 August 1946

TO THE DOCUMENT OFFICER:

The above document has been approved for processing by you
with changes as follows:

13 AUG 1946

8/16

Albert Williams
Judge Albert Williams
Document Control Attorney

By _____
Secretary

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

REQUEST FORM

1946

INCIDENT - ACCUSED

JUDGE ALBERT WILLIAMS

5005

The undersigned requests the consideration of Document # 5005
(describe):

*Copy of record of evidence of Mohamed of 2/15 Punjab Unit as to treatment
of POW at KUCHING, SERIA & KUALA BALAT Camps in BORNEO.
between Dec 1941 and June 1945*

*(Original record of evidence also herewith
for introduction in evidence (specify purpose) as to treatment of POW
(class B crimes)*

*Thomas F. Moynane
Lt-Col*

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION
AUSTRALIAN DIVISION

Staff Attorney

25 April 1946

TO THE DOCUMENT OFFICER:

The above document has been approved for processing by you
with changes as follows:

*70 Copies & stencil
available*

Judge Albert Williams
Document Control Attorney

By _____
Secretary

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

28 Oct , 1946

TO : DUPLICATION CONTROL

Attached is Document No. 5005 for Morimune

Arrange for reproduction 135 copies in English and

 copies in Japanese as follows:

Dupl Eng -
destroy existing copies in
vault.

Jap will follow when back
from translation.

(NOTE: DO NOT REMOVE FROM ATTACHED MATERIAL)

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

28 Oct, 1946

TO: TRANSLATION CONTROL

Attached is Document No. 5005 for Mornane

Arrange for translation as follows:

Attached copies of Jap & Eng
of 5005.

Check Jap to see if it
corresponds with excerpts
marked on Eng copy. The
portion at top marked with a
double line is an addition. Please
add on to Jap copy.

Dupl: Re-do entire Jap. Destroy
existing copies in vault.

SK

(NOTE: DO NOT REMOVE FROM ATTACHED MATERIAL)

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

30 July, 1946

TO: DUPLICATION CONTROL

Attached is Document No. 5005 for _____.

Arrange for reproduction of _____ copies in English and 90
copies in Japanese as follows:

Ditto: "Excerpts from Affidavit by Mahomed"

POBW

(NOTE: DO NOT REMOVE FROM ATTACHED MATERIAL)

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

16 August , 1946

TO: REPLICATION CONTROL

Attached is Document No. 5005 for Mornano.

Arrange for reproduction of 125 copies in English and _____
copies in Japanese as follows:

**Jap. extract has been duplicated. English dup. must now be made
as per latest ruling, marking excerpts.**

Affidavit of MAHOMED--Kashing and Kuala Balat.

600

(NOTE: DO NOT REMOVE FROM ATTACHED MATERIAL)

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

5-11, 1946.

TO: *Mornane*

Attached is Document No. 5005 together with translated material which will be reproduced for you as a result of your request of 28-10, 1946.

It is requested that you review this material and return ALL of it to this office at the earliest practicable date. No further processing can be accomplished until this is done.

Any questions should be addressed to Allen, Room 374.

M. B. L.
DOCUMENT PROCESSING UNIT

1st Ind.

TO: DOCUMENT PROCESSING UNIT

6: *hov*, 1946

Approved for reproduction when the following corrections have been made. (Must be indicated by page numbers. If no corrections, state NONE.)

None.

Mornane

Attorney

INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

CORRECTION SLIP

TO : *Translation*
 FROM : *Allen*

DATE: *31. Oct,*
 DOC. NO.: *5005*

Language	Page No.	Line No.	Doc. now reads:	Suggested correction
{ E J	/	3	<i>Internee Reception Depot</i>	
	/	3	<i>抑込者(受)客所 should be 抑込者(收)客所</i>	<i>Corrected OK</i> <i>H.M.</i> <i>OK</i> <i>4-5</i> <i>T.T.</i>

GENERAL HEADQUARTERS
SUPREME COMMANDER FOR THE ALLIED POWERS
INTERNATIONAL PROSECUTION SECTION

7-11, 1946.

TO: DUPLICATION CONTROL

Attached is Document No. 5005 for Munich

Arrange for reproduction of ~~175 copies in English~~ and 120 copies
in Japanese as follows:

Substitute ~~(Attach)~~ completed work (for) ~~(to)~~ existing processed
Document No. 5005.

Return original document to _____

WBC

(NOTE: DO NOT REMOVE FROM ATTACHED MATERIAL)

DOCUMENT DIVISION

_____ 1946

MIMEOGRAPH SECTION is requested to _____ DOC. NO. 5005
requested by Moore in Jap No. of pages _____
No. of copies 120.

COMPLETED: Date 11-7 Signature Nagatani

VAULT: Date 11-7 Signature BB

This receipt with two copies of this document attached to go to
Room 374, Miss Allen.

No 1 ☆

Doc 5005

「マホメド」ノ證言

一九四五年九月二十七日「モロタ」ノ俘虜及抑留者收容
所ニ於キ判事「マンス」ヲ「ホルド」氏ノ面前ニ於テ述ベラル。
第一七野戦工兵中隊工兵書記「キヨヂン」ダシシガ
通譯者トシテ宣言ス

Doc 5005

私の番号は一三一三三三で部隊は3/5パンジャブ
聯隊です。私はクチンで一九四一年十二月二十五日日本人
に依り捕はれました。二月クチンに居り其後は
クアラバトで收容されて居りました。

クチンでは充分に食事を與へられませんでした。
そして飛行場で傷つてみた時打たれました。棒で頭と
顔を打たれました。他の印度人でクチンで打たれました
ものはフェーサル、カリエラです。彼は今オーストラリアに
行って居ります。

クチンから私はセリアのキャンプに行きました。そこはクア
ラバトから約七哩の所です。セリアのキャンプでは私共
は十分な食物は與へられず、病氣と飢饉で約三十
七人の者が死にました。私は棒と革のベルトで打たれ
ました。

No2 ☆
私は当時毒痢と脚氣を煩ひ傷けなかつたに
拘けらず日本人は私を無理に働かせました。適当
に傷けなかつたので彼等は私を打たましたがひどい
怪我はしませんでした。其處で私を打つた日本人は
和田兵長でありました。彼はビルマの彼が部隊に
歸つたと聞きました。

Doc 5005

或る夜七時頃ジャングルに通路を作らう命令されし
たが私は其の時脚気で困つてゐて働くことが出来な
らぬので後に残すことの許しを乞ひました。日本人
は私を縛り籠ら倉に入れて打ました。夜中頃私は自
分で手の縄を弛めました。その時日本人が入つて来
て私の縄を弛めたのを見ました。彼等はまた私を打
ちました。次の日又私を働かしに連れて行きその夜
また棒で私を打ました。

幾度も日本人は私共を英國人に背いて彼等
の側につくことを要請しましたが、私共は拒絶致
しました。印度人の士官等は私共から奪つたキャ
ンプに連れて行かれた。私共が英國人に背いて彼
等の側につくことを拒絶しました時彼等は我
々の糧食を減らしそしてより多く仕事をさせま
した。そして私共は働つてゐる時打たれました。
アタグ兵十人といふのが私を打つた者の一人です。
昨年一月に私がアムハラウトを去る時彼
はオムダに居りました。

No 3 *

今春の一月十日に日本人は夜間大呼を行
ひました。その時私は一人とキャンプの近くの溝に
隠れて居りました。真暗でした。その時日本人が

Doc 5005

キャンプで印度人の首を切つてゐる者等の叫聲が
聞えした。私は朝疾つて行つて彼等が首を縛
られて首を切られてゐるのを見ました。夕方
七人位居ました。私と共に逃げたのはタジ
モートで彼は今オーストラリアに居ります。

真夜中の真呼と首切の時にはホーラ
兵長が居りました。暗闇で私は彼の聲が
合りました。

我共は約二十分に食事を喫へられ
ました。私
の様は病気があつたものは働ける者
は少くは食物を喫へられませんでした。

キャンプの指揮官はコムラ中尉
でした。見張りは三人居
て岡兵長、ホーラ兵長、夕
方兵長が居りました。その他に
井田といふ少尉も居りました。彼は
其の後中尉に昇進したと思ひます。彼は
この指揮官でした。

No 4 ☆
又モリガンといふ丘が居りました。彼は印度人を幾度
も打ちました。私も彼に打ちました。ある時私は庭の
植木に水をやるやうに命令され
ました。私は仕事を済ませ
ると列に戻りました。モリガンは
庭の中で私を押し、私か
るやうなことを知つた時
私は歸る様に命令して私を
蹴り且平手で打ちました。そして
庭の周りを走り廻すことも命令
されました。

DOCUMENT DIVISION

8-2 1946

MIMEOGRAPH SECTION is requested to _____ DOC. NO. 5005

requested by Norman in Jap, No. of pages _____

No. of copies 90

COMPLETED:

Date

8-12

Signature

BK

VAULT:

Date

8/5

Signature

GP

This receipt with two copies of this document attached to go to Room 347, Lt. Alexander.

DOCUMENT DIVISION

29 Oct. 1946

MIMEOGRAPH SECTION is requested to Run DOC. NO. 5005
requested by Mornane in Eng. No. of pages 2
No. of copies 131.

COMPLETED: Date 10-30 Signature Nagatori

VAULT: Date 10-30 Signature BP

This receipt with two copies of this document attached to go to
Room 374, Miss Allen.

Nagatori — to vault.

No. 1 ☆

Doc 5005

マホムドレノ證言

一九四五年九月二十七日「モロタリ」ノ俘虜及抑留者收容
所ニ於テ判事「フマンズ」ノ「ド」氏ノ面前ニ於テ述ベス。
第一七野戦工兵中隊工兵書記「カヨ」ガ「ダン」シ「レ」
通譯者トシテ宣ハラス

私の番号は一三、一三三で部隊は3/5フィンジャブ
聯隊です。私はクチンで一九四一年十月二十五日日本人
に依り捕はれました。二月クチンダに居り其後は
ラバラトで收容されて居りました。

クチンでは充分に食事を與へられませんでした。
そして飛行場で働いてみた時打たれました棒で頭を
顔を打たれました。他の印度人でクチンで打たれました
ものはフェーザル、カリエイです。彼は今テオーストフリヤに
行って居ります。

クチンから私はセリアのキャンプに行きました。そこはアラ
ラバラトから約七哩の所です。セリアのキャンプでは私共
は十人かな食物は與へられず、病氣と飢餓で約二十
七人の者が死にました。私は棒と草のベルトで打たれ
ました。

私は当時赤痢と脚氣を煩ひ働けなかつたにも
拘はらぐ日本人は私を無理に働かせました。適当
に働けなかつたので彼等は私を打たましたがひどい
怪我はしませんでした。其處で私を打つた日本人は
和田兵長でありました。彼はビルマの彼が部隊に
歸つたと聞き知りました。

或る夜七時頃ツヤングルに通路を作らう命令されし
たが私は其の時脚気で困つてゐて働くことが出来な
らなかつたので後に残すことの許しを乞ひました。日本人
は私を縛り監舎に入れて打ました。夜中頃私は自
分で手の縄を弛めました。その時日本人が入つて来て
私の縄を弛めたのを見ました。彼等はまた私を打
ちました。次の日又私を働かしに連れて行きその夜
また棒で私を打ました。

幾度も日本人は私共は英國人に背いて彼等の
の側につくことを要請しましたが、私共は拒絶致
しました。印度人の士ら等は私共から奪つたキャン
プに連れて行かれました。私共が英國人に背いて彼
等の側につくことを拒絶しました時彼等は我
々の糧糧を減らしそしてより多く士事をさせま
した。そして私共は働かざる時も打たれました。
アタタ兵九十人のうちが私を打つた者の一人です。
昨年9月1日に私がアラバワットを奪つた時彼
はまたそこに居りました。

今この11月16日に日本人は夜間大声呼を行
ひました。その時私は他一人とキャンプの近くの溝に
隠れて居りました。真暗でした。その時日本人が

キャンプで印度人の首を切つてゐる者等の叫聲が
聞えきた。私は朝突つて行つて彼等の首を縛
られて首を切られるのを見ました。夕刻七人位
居た。私と共に逃げたのはタジ・モードで彼は今オース
トラリアに居ります。

真夜中の真呼と首切の時にはオイラ伍長が居りま
した。暗闇で私は彼の聲が合つて来た。

我共は約二十分に食事を喫へられませんでした。私
の様は病氣であつたものは働ける者よりはお少く食物を
喫へられずした。

キャンプの指揮官はコミムラ中尉でした。見張りには三人居
て岡岳長、オイラ伍長、及び千兵長でした。その
他に井田といふ少尉も居ました。彼は其の後中尉に
昇進したと思ひます。彼は此の指揮官でした。

No 4 ☆
又モリザンといふ丘に居りました。彼は印度人を幾度
も打ちました。私は彼に打たれました。ある時私は庭の
植木に水をやるやうに命令されました。私は仕
事を済ませると列に居りました。又リザンは庭の中
で私を捜し私があるやうを知つた時私に歸る様に
命令して私を蹴り且平手にて打ちました。そして時
間庭の周りを走り廻ることも命令されました。

マホメド (MAHOMED)

私の番号は一三、三三三で部隊は^第ポンジヤブ聯隊です。私はクチンで一九四二年十二月二十五日日本人に依り捕はりました。ニケ月クチンに居り其後はクアラバラトで収容されて居りました。

クチンでは充分に食事を與へられませんでした。そして飛行場で働いてゐた時打たれました。棒で頭と顔を打たれました。他の印度人でクチンで打たれましたものはズーザル・カリエムです。彼は今オーストラリアに行つて居ります。

クチンから私はセリアアのギヤンプに行きました。そこはクアラバラトから約七哩の所です。セリヤのギヤンプでは私共は十人かな食物は與へられず、病氣と飢餓で約二十七人の者が死にました。私は棒と革のベルトで打たれました。

私は當時赤痢と脚氣で働けなかつたにも拘はらず日本人は私を無理に働かせました。適當に働けなかつたので彼等は私を打ちました。かひどい怪我はしませんでした。其處で私を打つた日本人は和田兵長でありました。彼はビルマの彼の部隊に歸つたと聞きました。

或る夜七時頃ツヤングルに通路を作らやう命令
されました。だが私はその時脚気で困つてゐて働くこ
とが出来ませせん。したので後に残つてゐる評しを
乞ひました。日本人は私を縛り塔倉に入れ打
ちました。夜中頃私は自分分で手の縄を弛めまし
た。その時日本人が入つて来て私の縄を弛めたのを
見ました。彼等はまた私を打ちました。次の日亦私
を働かして連れに来てその夜また棒で私を打
ちました。

幾度も日本人は私共に米国人に對して彼等の
側につくことを要請しましたが、私共は拒絶致し
ました。印度人の士官等は私共から違つたキヤンプ
に連れ行かれました。私共が米国人に對して彼
等の側につくことを拒絶しました。彼等は我
々の糧食を減らし、そしてより多く仕事をさせ
ました。そして私共は働かざる時、打たれまし
た。アタタ兵隊といひのが私を打たれた者の一
人です。昨年の六月に私がクアラバラムトを去る時迄に彼
はそこに居りました。

△今午の六月十六日の夜中頃日本人は私等
を取りました。その時私は他の一人とキヤンプの近く
の溝に隠れて居りました。其時暗くなりました。その時

日本人がキャンプで印度人の首を切つてゐる者等の叫聲が聞えました。私は朝戻つて行つて手を後手に結ばれて首を切られてゐる彼等を見ました。多分七十人位おりました。私と共に逃げたのはタビ・モードで彼は今オトストラリアに居ります。

真夜中の突呼と首切の時にはホイラ伍長が居りました。暗闇でも私は彼の聲が分かりました。

私共はどこでも十分に食事を喫へられませんでした。私の様に病氣であつたものは働ける者トリは少く、食物を喫へられませんでした。

キャンプの指揮官はコミムラ中尉でした。見張りは三人居て岡伍長、ホイラ伍長、及びチ兵長でした。その他に井田といふ少尉もおりました。彼はその後中尉に昇進したと思ひます。彼はこの指揮官でした。

又モリザンといふ兵卒が居りました。彼は印度人を幾度も打ちました。私も彼に打られました。ある時私は庭の野菜に水をやるやうに命令されました。私は仕事を済ませると列に戻りました。モリザンは庭の中で私を捜し、私がゐない時を知つた時私に歸る様に命令して私を蹴り且平手で打ちました。そして一時間程庭の中を走り廻ることを命令しました。

5005

0-4

1

「マホメド」の証言

一九四五年九月二十七日「モロタイ」の傍席及

~~押留~~

者 ~~モロタイ~~ 容所にて ^收 於て 判事「マンスフィールド」氏、

面前に於て述べらる。

第七野戦工兵中隊工兵書記「ナヨチンダン」

「シング」通譯者トシテ宣揚ス。

E. Nakajima
dictated by Mitoichi SAPPAYASU

マホメド (MAHOMED)

私の番号は一三一三三三三 部隊は 2/5 ポンジヤブ
聯隊です。私はクチンで一九四一年十二月二十五日
日本人に捕れまされた。

~~捕虜~~捕虜はクアラ バラトに居りました。その後
収容され

クチンでは十分に食事を與へられませんでした。
そこで飛行場で働かぬまじに打たれまされた。棒で
頭と顔を打たれまされた。他の印度人でクチンで
打たれまされた者は、フェーガル・カリエムです。彼は今
オーストラリアに行つて居ります。

クチンから私はセリアのキャンプに行きまされた。そこは
クアラ バラトから約七哩の所です。セリアのキャンプでは
私共は十分な食物は與へられず 病氣と飢餓が
約二十七人の者が死にまされた。私は棒と皮のベルトで
打たれまされた。

私は ^{當時} 赤痢と脚氣で働けず ^{たがったにも拘らず} 日本人は
無理に私を働かせまされた。 ~~私は~~ 適当に働けな
かつたので 彼等は私を打ちまされたが、私は ~~い~~
ひどい怪我はしませんでした。

其處で
私を打つた日本人は和田兵長と書きました。
彼はビルマの彼の部隊に帰つたと聞きました。

或る夜細七村坎にヤングルに通路を作る様命令
されましが私はその時脚氣で困つておいて傷
つたおれもあつたので、~~許~~許
しを乞いました。日本人は私を縛り管倉に
入れて私を打ちました。~~初中坎~~初中坎私は自分の手
に縄を弛めました。その時日本人が
入つて来て私の縄を弛めたく見えし。彼等
は私を打ちました。次の日私を働かした
連丸に来てその夜私棒で私を打ちました。

何れも日本人は私共に、~~要請~~要請し
彼等~~の側~~の側はつた。報告し
拒絶致しました。印度人の士官等が私共を牽つた
キャンパに連丸を行かれました。私共が美国に
拒絶して彼等の糧食を減らし、~~拒絶~~拒絶し
彼等は我々の糧食を減らし、~~拒絶~~拒絶し
用糧は~~お~~おした。そして打たれました。
私共は働かした。

アタダ共と云ふのが私を打つた者の一人です。

昨年(1)の
六月に ~~...~~ 私が去る時迄、彼は ~~...~~ に
居りました。

真呼

今年の六月十六日の真夜中日本人は ~~...~~ 調査
を取りました。その時私は他の ~~...~~ と キャンプの近く溝に
隠れ居りました。真暗でした。その時日本人が
キャンプで 印度人の首を切つてみてその者等の叫聲が
聞えました。私は朝灰を行つて、午を夜半に結ばれて
首を切られその彼等を見ました。多分七十人位
もおました。私と共に ~~...~~ は タジ・モードで彼は今
オーストラリアに居ります。

真呼と首切の

真夜中の ~~...~~ 村と ~~...~~ 村のホイラ

伍長が居ました。暗闇でも彼の音が分りました。

私共はどこにも十分に食事をせよといふ ~~...~~ だ
私の ~~...~~ 物多であつた者は働ける者より ~~...~~ 食物は
中 ~~...~~ といふました。

キャンプの指令官は コミムラ中尉でした。見張りは
三人居て 岡兵長、ホイラ伍長、及び ~~...~~ 兵長でした。
井田と云ふ十尉もおました。 ~~...~~ の後中尉に昇進

3
その他に

しにと思ひます。

彼はその指令官指揮ふした。

又モリガンと云ふ兵卒が居りました。彼は印度人を

殺殺ち打ちました。私も打ちました。ある時私は

庭の野菜に水をやるやう命令せられた。私は仕事を

済ませると列に、戻りました。モリガンは庭の中を

私を捜し、私がぬきいのを知らぬ私に、命を

一に私を蹴り、~~私~~平午に打ちました。そして一方向

庭の中を走り回り、命を命令しました。

Evidence Document ~~5006~~ 5005

MAHOMED.

My number is 13133 and my unit the 2/15 Punjab Regiment. I was captured by the Japanese on 25 December 1941 at Kuching. I was at Kuching for two months and for the rest of the imprisonment was at Kuala Balat.

At Kuching I was not given enough food, and was beaten whilst I was working on the air-strips. I was beaten with sticks, on the head and face. Another Indian who was beaten at Kuching camp was Fazal Kariem. He has now gone to Australia.

From Kuching I went to Seria camp, about seven miles from Kuala Balat. In Seria camp we were not given enough food and about 27 men died of diseases and starvation. I was beaten with sticks and leather belts.

I was suffering from dysentery and beri beri at the time and was unable to work but the Japanese forced me to work. I could not work properly so they beat me. I was not badly wounded.

A Japanese there who beat me was L/Cpl. Wada. I have heard that Wada went back to his unit in Burma.

At about 7 o'clock one night I was ordered to go into the jungle to make a track but at the time I was suffering from beri beri and unable to work, and I asked to be allowed to stay behind. The Japs tied me and put me in a cell. They also beat me. At about midnight I loosened the rope tied round my hands and at the same time the Japs came in and saw I was loose. They again beat me. Next day they again took me to work, and they beat me again that night with sticks.

Many times the Japs asked us to join them against the British, but we refused. Indian officials were taken away from us to other camps. When we refused to join against the British, the Japs reduced our rations and made us work harder, and we were beaten whilst we worked.

Pte Atada was one Jap soldier who beat me. He was still at Kuala Balat when I got away from there last June.

On 16 June this year the Japs put on a midnight roll call. At that time I and another man were hiding in a trench near the camp. It was dark. I heard cries when the Japanese were beheading the Indians in the camp. In the morning I went back and saw the hands of all the men were tied, and they had been beheaded. There probably were 70 men there. The man who got away with me is Taj Mohd - he is now in Australia.

A Cpl. Hoira was there during that midnight roll call and beheadings; I recognised his voice in the darkness.

We never had enough food anywhere. Those who were sick, as I was, were given less than those able to work.

Lt. Komimura was commander of the camp. Three of the guards were L/Cpl. Oka, Cpl. Hoira, L/Cpl. Guchi. There also was 2nd Lieut. Ida, since promoted, I believe, to Lieutenant. He was a commander there.

There also was a Pte Morizan; he beat the Indians many times. He also beat me. Once I was ordered to water plants in the garden; when I had finished I went back to the lines; Morizan looked for me in the garden, and when he found I was missing he ordered me back and kicked me, and slapped me, and I was ordered to run round the garden for an hour.

Evidence of MAHOMED

taken on 27th September, 1945, at the Prisoner-of-War and Internee Reception Depot, Meretai, in the presence of Mr. Justice Mansfield.

Sapper Clerk JOGINDAN SINGH, 17 Field Coy., is sworn as interpreter.

My number is 13133 and my unit the 2/15 Punjab Regiment. I was captured by the Japanese on 25th December, 1941, at Kuching. I was at Kuching for two months and for the rest of the imprisonment was at Kuala Balat.

At Kuching I was not given enough food, and was beaten whilst I was working on the air-strips. I was beaten with sticks, on the head and face. Another Indian who was beaten at Kuching camp was Fazal Kariem. He has now gone to Australia.

From Kuching I went to Saria camp, about seven miles from Kuala Balat. In Saria camp we were not given enough food and about 27 men die of diseases and starvation. I was beaten with sticks and leather belts.

I was suffering from dysentery and beri-beri at the time and was unable to work but the Japanese forced me to work. I could not work properly so they beat me. I was not badly wounded.

A Japanese there who beat me was L/Cpl Wada. I have heard that Wada went back to his unit in Burma.

At about 7 o'clock one night I was ordered to go into the jungle to make a track but at the time I was suffering from beri-beri and unable to work, and I asked to be allowed to stay behind. The Japs tied me and put me in a cell. They also beat me. At about midnight I loosened the rope tied around my hands and at the same time the Japs came in and saw I was loose. They again beat me. Next day they again took me to work, and they beat me again that night with sticks.

Many times the Japs asked us to join them against the British, but we refused. Indian officials were taken away from us to other camps. When we refused to join against the British, the Japs reduced our rations and made us work harder, and we were beaten whilst we worked.

Pte. Atada was one Jap soldier who beat me. He was still at Kuala Balat when I got away from there last June.

On 16 June, this year the Japs put on a midnight rollcall. At that time I and another man were hiding in a trench near the camp. It was dark. I heard cries when the Japanese were beheading the Indians in the camp. In the morning I went back and saw the hands of all themen were tied, and they had been beheaded. There probably were 70 men there. The man who got away with me is Taj Mohd - he is now in Australia.

A ^{Cpl.} ~~Cap.~~ Heira was there during that midnight rollcall and beheadings; I recognised his voice in the darkness.

We never had enough food anywhere. These who were sick, as I was, were given less than those able to work.

Lt. Komimura was commander of the camp. Three of the guards were L/Cpl Oka, Cpl. Heira, L/Cpl. Guchi. There also was 2nd. Lieut Ida, since promoted, I believe to Lieutenant. He was a commander there.

There also was a Pte Merizan; he beat the Indians many times. He also beat me. Once I was ordered to water plants in the garden; when I had finished I went back to the lines; Merizan looked for me in the garden, and when he found I was missing he ordered me back and kicked me, and slapped me, and I was ordered to run round the garden for an hour.

I have read what purports to be a transcription and translation of evidence given by MAHOMED before Mr. Justice Mansfield with myself as interpreter on 27 September, 1945, and state that it is a true and accurate translation of the evidence so given by the said MAHOMED. I was present before Mr. Justice Mansfield on this date when MAHOMED swore that the said evidence was true and correct in substance and in fact and immediately before the said MAHOMED so swore I read to him a true and accurate translation of the said evidence in the Indian language.

(Signed) Jogindan Singh.

I, MAHOMED, swear that the evidence read over to me by Jogindan Singh immediately prior to my taking this oath is to my knowledge true in substance and in fact.

(Signed) MAHOMED

Taken and sworn before me at)
MOROTAI on this 27th day of)
September, 1945.)

(Signed) A.J. Mansfield
Commissioner.

Evidence of MAHOMED

taken on 27th September, 1945, at the Prisoner-of-War and Internee Reception Depot, Morotai, in the presence of Mr. Justice Mansfield.

Sapper Clerk JUGINDAN SINGH, 17 Field Coy., is sworn as interpreter.

My number is 13133 and my unit the 2/15 Punjab Regiment. I was captured by the Japanese on 25th December, 1941, at Kuching. I was at Kuching for two months and for the rest of the imprisonment was at Kuala Balat.

At Kuching I was not given enough food, and was beaten whilst I was working on the air-strips. I was beaten with sticks, on the head and face. Another Indian who was beaten at Kuching camp was Fazal Kariem. He has now gone to Australia.

From Kuching I went to Seria camp, about seven miles from Kuala Balat. In Seria camp we were not given enough food and about 27 men die of diseases and starvation. I was beaten with sticks and leather belts.

I was suffering from dysentery and beri-beri at the time and was unable to work but the Japanese forced me to work. I could not work properly so they beat me. I was not badly wounded.

A Japanese there who beat me was L/Cpl Wada. I have heard that Wada went back to his unit in Burma.

At about 7 o'clock one night I was ordered to go into the jungle to make a track but at the time I was suffering from beri-beri and unable to work, and I asked to be allowed to stay behind. The Japs tied me and put me in a cell. They also beat me. At about midnight I loosened the rope tied around my hands and at the same time the Japs came in and saw I was loose. They again beat me. Next day they again took me to work, and they beat me again that night with sticks.

Many times the Japs asked us to join them against the British, but we refused. Indian officials were taken away from us to other camps. When we refused to join against the British, the Japs reduced our rations and made us work harder, and we were beaten whilst we worked.

Pte. Atada was one Jap soldier who beat me. He was still at Kuala Balat when I got away from there last June.

On 16 June, this year the Japs put on a midnight rollcall. At that time I and another man were hiding in a trench near the camp. It was dark. I heard cries when the Japanese were beheading the Indians in the camp. In the morning I went back and saw the hands of all themen were tied, and they had been beheaded. There probably were 70 men there. The man who got away with me is Taj Mohd - he is now in Australia.

A Cap. Hoira was there during that midnight rollcall and beheadings; I recognised his voice in the darkness.

We never had enough food anywhere. Those who were sick, as I was, were given less than those able to work.

Lt. Komimura was commander of the camp. Three of the guards were L/Cpl Oka, Cpl. Hoira, L/Cpl. Guchi. There also was 2nd. Lieut Ida, since promoted, I believe to Lieutenant. He was a commander there.

There also was a Pte Morizan; he beat the Indians many times. He also beat me. Once I was ordered to water plants in the garden; when I had finished I went back to the lines; Morizan looked for me in the garden, and when he found I was missing he ordered me back and kicked me, and slapped me, and I was ordered to run round the garden for an hour.

I have read what purports to be a transcription and translation of evidence given by MAHOMED before Mr. Justice Mansfield with myself as interpreter on 27 September, 1945, and state that it is a true and accurate translation of the evidence so given by the said MAHOMED. I was present before Mr. Justice Mansfield on this date when MAHOMED swore that the said evidence was true and correct in substance and in fact and immediately before the said MAHOMED so swore I read to him a true and accurate translation of the said evidence in the Indian language.

(Signed) Jogindan Singh.

I, MAHOMED, swear that the evidence read over to me by Jogindan Singh immediately prior to my taking this oath is to my knowledge true in substance and in fact.

(Signed) MAHOMED

Taken and sworn before me at)
MOROTAI on this 27th day of)
September, 1945.)

(Signed) A.J. Mansfield
Commissioner.

No 1 ☆

Ex 1656A

Doc 5005

「ホムト」ノ證言

一九四五年九月二十七日「モロタイ」ノ俘虜及抑留者收容
所ニ於キ判事「ランスフホルド」氏ノ面前ニ於テ述ベル。
第一七野戦工兵中隊工兵書記「キヨゲンダンシ」
通譯者トシテ宣誓ス

Doc 5005

私の番号は一三一三三三で部隊は2/5プリンジャブ
聯隊です。私はクチンで一九四一年十二月日本人
に依り捕はれました。二月クチンダに居り其後は
アラバットで収容されて居りました。

クチンでは充分に食事を與へられませんでした。
そして飛行場で傷つてみた時打たれました。棒で頭と
顔を打たれました。他の印度人でクチンで打たれました
ものはフェーザル・カリエイです。彼は今オーストラリアに
行って居ります。

No2 *

私は当時赤痢と脚氣を煩ひ傷けをうけたに
拍けらる日本は私を無理に働かせました。適当
に傷けをうけたので彼等は私を打たましたがひどい
怪我はしませんでした。其處で私を打つた日本人は
和田兵長でありました。彼はビルマの彼の部隊に
歸つたと聞きました。

Doc 5005

たが私は其の時脚気で困らぬで働いてゐて働くことができて喜ば
んでいたので後に残ることの許しを乞ひました。日本人
は私を縛り籠舎に入めて打たました。夜中頃私は自
分で手の縄を弛めました。その時日本人が入つて来て
私の縄を弛めたのを見ました。彼等にはまた私を打
ちました。次の日又私を働かして連れて行きその夜
また棒で私を打たました。

幾度も日本人は私共を英國人に背いて彼等
の側につくことを要請しましたが、私共は拒絶致
しました。印度人の士官等は私共から違つたキヤ
ンブに連れて行かれずした。私共が英國人に背いて彼
等の側につくことを拒絶しました時彼等は我
々の糧食を減らししてより多くは軍をささま
した。そして私共は働いてゐる時も打たれずした。
アタタ兵十士の力が私を打つた者の一人です。
昨年9月1日に私がアラバラウトを去る時彼
はあのなほここに居りました。

No 3 *

今このころ月十六日に日本人は夜間大声呼を行
ひました。その時私は一人とキヤンプの近くの溝に
隠れて居りました。真暗でした。その時日本人が

doc 5005

キヤンプで印度人の首を切つてゐる者等の叫聲が
聞えきた。私は朝疾つて行つて彼等が首手も縛
られて首を切られてゐるのを見ました。夕方七分位
に。私と共に逃げたのは夕ヅ・モードで彼は今オース
トラリアに居ります。

真夜中の真呼と首切の時にはホーラ伍長が居りま
した。暗闇で私は彼の聲が合りました。

我共は約二十分に食事を喫へられませんでした。私
の様は病氣であつた。これは働ける者よりはお少く食物を
喫へられませんでした。

キヤンプの指揮官はコミムラ中尉であつた。見張りは三人居
て岡兵長、ホーラ伍長、夕方伍長が居りました。その
他に井田といふ少尉も居りました。彼は其の後中尉に
昇進したと思ひます。彼は此の指揮官であつた。

No 4 ☆
又モリザンといふ丘が居りました。彼は印度人を幾度
も打ちました。私は彼に打ちました。ある時私は庭の
植木に水をやるやうに命令された。私は仕
事を済ませると列に戻りました。モリザンは庭の中
で私を押し、私からナイフを知つた時私に歸る様に
命令して私を蹴り且平手で打ちました。そして時
間庭の周りを走り廻ることと命令しました。

Evidence of MAHOMED

taken on 27th September, 1945, at the Prisoner-of-War and Internee Reception Depot, Morotai, in the presence of Mr. Justice Mansfield.

Sapper Clerk JUGINDAN SINGH, 17 Field Coy., is sworn as interpreter.

My number is 13133 and my unit the 2/15 Punjab Regiment. I was captured by the Japanese on 25th December, 1941, at Kuching. I was at Kuching for two months and for the rest of the imprisonment was at Kuala Balat.

At Kuching I was not given enough food, and was beaten whilst I was working on the air-strips. I was beaten with sticks, on the head and face. Another Indian who was beaten at Kuching camp was Fazal Kariem. He has now gone to Australia.

From Kuching I went to Seria camp, about seven miles from Kuala Balat. In Seria camp we were not given enough food and about 27 men die of diseases and starvation. I was beaten with sticks and leather belts.

I was suffering from dysentery and beri-beri at the time and was unable to work but the Japanese forced me to work. I could not work properly so they beat me. I was not badly wounded.

A Japanese there who beat me was L/Cpl Wada. I have heard that Wada went back to his unit in Burma.

At about 7 o'clock one night I was ordered to go into the jungle to make a track but at the time I was suffering from beri-beri and unable to work, and I asked to be allowed to stay behind. The Japs tied me and put me in a cell. They also beat me. At about midnight I loosened the rope tied around my hands and at the same time the Japs came in and saw I was loose. They again beat me. Next day they again took me to work, and they beat me again that night with sticks.

Many times the Japs asked us to join them against the British, but we refused. Indian officials were taken away from us to other camps. When we refused to join against the British, the Japs reduced our rations and made us work harder, and we were beaten whilst we worked.

Pte. Atada was one Jap soldier who beat me. He was still at Kuala Balat when I got away from there last June.

On 16 June, this year the Japs put on a midnight rollcall. At that time I and another man were hiding in a trench near the camp. It was dark. I heard cries when the Japanese were beheading the Indians in the camp. In the morning I went back and saw the hands of all themen were tied, and they had been beheaded. There probably were 70 men there. The man who got away with me is Taj Mohd - he is now in Australia.

CpL

A ~~Cep~~. Hoira was there during that midnight rollcall and beheadings; I recognised his voice in the darkness.

We never had enough food anywhere. Those who were sick, as I was, were given less than those able to work.

Lt. Komimura was commander of the camp. Three of the guards were L/Cpl Oka, Cpl. Hoira, L/Cpl. Guchi. There also was 2nd. Lieut Ida, since promoted, I believe to Lieutenant. He was a commander there.

There also was a Pte Morizan; he beat the Indians many times. He also beat me. Once I was ordered to water plants in the garden; when I had finished I went back to the lines; Morizan looked for me in the garden, and when he found I was missing he ordered me back and kicked me, and slapped me, and I was ordered to run round the garden for an hour.

I have read what purports to be a transcription and translation of evidence given by MAHOMED before Mr. Justice Mansfield with myself as interpreter on 27 September, 1945, and state that it is a true and accurate translation of the evidence so given by the said MAHOMED. I was present before Mr. Justice Mansfield on this date when MAHOMED swore that the said evidence was true and correct in substance and in fact and immediately before the said MAHOMED so swore I read to him a true and accurate translation of the said evidence in the Indian language.

(Signed) Jogindan Singh.

I, MAHOMED, swear that the evidence read over to me by Jogindan Singh immediately prior to my taking this oath is to my knowledge true in substance and in fact.

(Signed) MAHOMED

Taken and sworn before me at)
MOROTAI on this 27th day of)
September, 1945.)

(Signed) A.J.Mansfield
Commissioner.